

# みんなの 恩多町

東村山市社会福祉協議会  
恩多町福祉協力員会  
令和5年3月発行  
第47号

恩多町

面積 1.98 km<sup>2</sup>

おんたちょう

Onta-cho



## 恩多町物語 ①

## ～ 万年橋のケヤキの巻 ～



ひょっとしたらトトロだって住んでいるかも・・・

万年橋近くのクリニックの先生は言いました。「まるでトトロが出てきそうな木でしょ。だからここで開院したいって思ってね。」確かに！万年橋のケヤキは唯一無二の立派な木です。

### 用水が先？根っこが先？

1655年に完工した野火止用水。その時すでに大木として存在しており「根の下を掘って水を通した」とも「土橋に添って根を延ばした」とも言われ、真意のほどはわかりませんが、長きにわたり人々の暮らしに寄り添い、優しく力強く我々を見守り続けてくれる恩多町のシンボルです。

幹回 6.3m、樹高 30m、樹齢は 5～600 年  
昭和 44 年に市の天然記念物に指定される

### 倒れても、被害を与えず

1996年9月の台風で幹が二つに裂け、倒れたにもかかわらず、人や建物に一切被害を与えなかったという伝説も持ち合わせた、ありがたいケヤキです。

幹は半分になり、一時その雄々しさが損なわれてしまったかのような時期もありました。が、四半世紀たった今もどっしりとその姿を保っています。

昭和の子ども達は信じていました。この幹の中にはたくさんの蛇が住んでいるんだと！ほらあそこにも蛇、こっちは蛇の抜け殻。根っこの上で遊びながら騒いでいましたとさ！  
(現在は遊んではいけません)

### ずっと見守り続ける恩多町のシンボルツリー

万年橋のケヤキはこれまでと変わらず、これから先もずっと我々を、我々の子孫を、我が恩多町を優しく見守ってくれることでしょう。

# 標語「ありがとう ゴミを拾って 町きれい」



WE <sup>LOVE</sup> 恩多町プラン推進会では、「あいさつ+ひと言運動」を継続しつつ、恩多町をゴミのないきれいな町に、を目指して、「町なか護美(ごみ)プロジェクト」を推進中です！身近なSDGsとして、ゴミの捨てづらい町づくりを心がけ、安心安全な恩多町となるように、みなさん、ぜひご協力をお願いします。

## ゴミは捨てない！

ゴミにしない努力とゴミを捨てない意識づけ

町をきれいにし、守り続けることは、落ちたゴミを拾い集めること以上に、捨てない意識づけが必要です！

お孫さんやお子さんの将来の為にも「護美(美しさをまもる)」を維持して、美しい町・恩多町と一緒に護っていきましょう。

月1回、大岱小野火止小前での挨拶運動終了後、場所を決めてゴミを拾う活動をしています。町はきれいになるし、良い運動にもなるし一挙両得です。



今回も五中、大岱小、野火止小の皆さんから60点近くの素敵なポスター原画が集まりました。町内各所に掲示しますので、ぜひ子どもさん達の絵も楽しみください。各学校の先生方にも快くお引き受けいただき、ポスター制作に保護者の方もお手伝いくださいました。

## ありがとう！

4回目のポスター作り、掲示など、ご協力に感謝



♪ 掲示をしていたら、町の人たちから温かいお声を掛けていただきました♪

## 《五中 制服譲渡会》 思い出や愛情も引き継げる

五中PTAでは制服や体操着、上履きのリユース活動を無料で行っていきます。昨年10月には在校生に向けて《交換会》をし、11月には新一年生の保護者に向けて《譲渡会》を開催しました。



サイズアウトした制服をお母さん達がボタンを付け直したりアイロンをかけたりと一点一点チェックをし、新たな生徒の手に渡ります。

80点ほど用意したリユース品は全てなくなり、「全部を揃えたら12~13万するから助かります」と、6年生の保護者は大事そうに抱えて帰りました。



在校生の思い出と保護者の愛情。みんなの想いが引き継がれ、五中生の毎日をサポートします。

# 「子どもは地域で育てるもの！」

## 子ども達にラグビーを教えて38年

今年はラグビーワールドカップの年！最近では小学校の授業にもラグビーが取り入れられています。そんな近年注目されているラグビーを東村山市で38年に渡り、子ども達に教え続けているのが吉澤和男さん(73歳・恩多町1丁目在住)です。



東村山  
ラグビー少年団監督  
吉澤和男さん

恩多町には  
たくさんのお宝人(ひと)  
お宝事(ごと)がザックザク。

## 恩多町のたから

大きな舞台で活躍する人から、  
陰でコツコツと支えてくれる  
人まで恩多町のお宝の  
存在をご紹介します！



### 大前提はケガをさせないラグビー

「第一に、ケガをさせないように細心の注意と指導を心がけています」と語る吉澤さん。動きもパスも全て基本こそが大事、ラグビー=怖いスポーツという概念を破って、心からラグビーを楽しんで欲しいそうです。

### 心にとどく吉澤さんの大きな手

監督はじめ、コーチもすべてボランティア。「子ども達に携われる事が幸せなんです。根性論の時代は終わりました。どんな指導をしても全て私が責任を持つ」。吉澤さんは、子ども達の顔を見れば体調不良だけでなく、子どもなりに抱えているものもわかるとのこと。ケガにつながらない為にも自ら声をかけて回る吉澤さんの手は、たくさん子ども達に触れられ、それはまるで心にも触れているようにも見えました。



練習日  
毎週日曜日  
8:30~11:30  
中央公園  
見学体験大歓迎  
現在3歳~小6  
男女問わず活躍中！

### 子どもは地域で育てるもの

「何年たっても当時のキラキラした目つきで『監督~!』と声をかけられます。子ども達に携わり、成長した姿を見るのはこの上ない喜びです。どんな子でも受け入れています。言葉通り、体格差もいろいろ、女の子もいます。」

厳しさと優しさを併せ持ち、子どもや保護者からも絶大な信頼を得ている吉澤監督。「子どもは地域で育てるもの」ご自身にとって「ラグビーは宝」とおっしゃる吉澤さんの表情は輝いていました。



## 学校で親子と地域が防災と一緒に学ぶ <大岱小>



昨年12月、大岱小で行われた「おんたフェスタ」(PTAと土曜開放講座げんきひろば主催)に福祉協力員が参加協力しました。テーマは「防災」。小学校を地域で応援しようと、市防災課、社協や消防署にも協力して頂きました。「もしもに備えて」防災マップや防災トイレ、新聞紙で作るスリッパ体験、更にはお土産付きゲームができる防災クイズなど工夫を凝らしました。

当日参加した児童(約100人)や保護者からは、クイズや展示を通して楽しく学べたとの感想を頂きました。地域が学校と関わることで、防災を大人も子どもも一緒に学ぶことの大切さを改めて感じた行事でした。





# 今こそ始めよう アマチュア無線

～今回は3回シリーズの最終回です～

## その3 アマチュア無線の資格を取っていませんか

### ●アマチュア無線資格を取る方法●

アマチュア無線をするには、総務省のアマチュア無線従事者国家試験に合格してから、無線局を申請して認可され免許が付与され開局します。免許状には呼出符号他記載されます。呼出符号をみればどこの国の無線局か、分かります。アマチュア無線の資格には1級から4級までありますが、一番易しい4級は2日間の講習で小学校高学年、中学生でも取得しています。

### ●ドローンにも必要！●

今いろいろな場面で大活躍のドローンですが、実は撮影した映像信号を送る場合もアマチュア無線の免許が必要です。

### ●社協田中さんがチャレンジ、見事合格！●

アマチュア無線は仕事には使えませんが、災害時の救助活動等で役立てることが出来ます。このシリーズを読んだ社協の田中さんは、万が一に備えようと免許取得に向けて勉強し、この度4級の資格を取得しました！

(アマチュア無線歴56年 恩多町福祉協力員・日沖)



今年は卯年、飛躍と向上の年！新しいことにチャレンジするにはうってつけです。皆さんも一緒に新しいことにチャレンジしませんか？



## 恩多町福祉協力員会活動報告

サロン、男の料理教室など地域活動を徐々に再開！



### ●恩多おしゃべり会

サロン再開でおしゃべりも一層賑やか。福祉協力員南さんの健康情報に真剣に耳を傾ける参加者の皆さん (3丁目恩多自治会館)



### ●バザー活動

不用品が必要品へ  
昨年10月の三世代交流イベント「おいなりサンデー」にバザーで参加し在庫の品を販売 (稲荷公園)

### ●グリーンサロン

参加者の方と折り紙などで小物作りをしながら、和やかにおしゃべりをしたり、時には、フラダンスを楽しみます。



(1丁目グリーンランド集会所)



### ●男の料理教室

昨年12月は鮭のムニエルを作り、なかなかの出来栄えに満足！(恩多ふれあいセンター)

### ●「恩多みんなのベンチ」受賞

(稲荷公園・野火止水車苑)

昨年11月、日本インテリアデザイナー協会からインテリアプロダクト部門賞を受賞しました。(地域の提案、寄付と行政が一体となった活動と伐採樹木再利用で作ったベンチが評価されました)



◆47号から編集長を拝命しました◆  
◆原田前編集長には「みんなの恩多町」を長きに渡り素晴らしい編集をして頂き感謝に堪えませんが、引き続き編集委員としてご指導を頂きたくよろしくお願い致します◆  
◆今号では、恩多町物語「万年橋のケヤキ」、「町なか護美プロジェクト」の状況、「恩多町の宝」では東村山ラグビー少年団監督を取り上げました◆  
◆恩多町内には「町なか護美プロジェクト」のポスターを掲示しています。大岱小、野火止水、五中の子どもの熱い気持ちが見られたポスターをぜひご覧ください◆  
◆今後も恩多町の良さ、素晴らしさ、人とのつながりを皆様に届けていきたいと考えています

新編集長 日沖

編集後記